



### コルク樫の木

コルク樫は、地中海沿岸の地域で育つブナ科の常緑樹です。樹皮を剥がしてコルク栓などに使われますが、樹皮を剥がされたコルク樫は大量のCO<sub>2</sub>を吸収しながら、約9年で樹皮を再生します。約200年の樹齢の限り、持続的にコルクを採取し続けることができる、地球にやさしい樹木です。1898年にコルク栓の製造から創業した内山工業では、シンボルツリーとしてコルク樫を植樹しています。

# サステイナブル経営の考え方

## ウチヤマグループ経営理念

会社を愛する人間集団として、将来に向かって挑戦するとともに、地球的感觉を養い、世界に誇れる製品を提供し、そしてお互い助け合い、信頼し、幸福への道を開拓するために積極的な行動をとり、温かい心を持って、いつまでも発展することを目指します。

## 「Perpetual Evolution = 永遠の進化」

ウチヤマグループがかかげる中期計画の総称。中期経営ビジョンを原則3年毎に更新し、従業員が具体的に目指す姿を明確にしています。2021年10月から2024年9月をPerpetual Evolution 6としています。

経営  
理念

中期経営計画  
— 永遠の進化 —  
「Perpetual Evolution」

取引先

お客様

環境

従業員

地域社会



ウチヤマグループは1898年の創業以来、世界の皆様から喜ばれる製品作りを通して、社会貢献に努めてきました。サステイナブル経営を実現するため、経営理念を基軸とし、具体的な目標を中期経営計画にて定め、永遠の進化のために従業員一丸となって挑戦を続けています。利益の追求のみでなく、ステークホルダーの皆様と共に歩み続けるため、経営理念に基づいたCSRのテーマを定め、社会的責任を果たすよう真摯に事業活動を行っています。

# CSR 8 つのテーマと項目

## ①安全・人権・労働

3P～7P

- ・労働安全衛生方針
- ・安全宣言
- ・労働安全衛生マネジメントシステム
- ・安全衛生管理体制
- ・労働災害、通勤途上事故
- ・代表的な取り組み(安全)
- ・人権に関する考え方
- ・外国人従業員の採用
- ・障がい者の雇用環境
- ・女性の活躍
- ・代表的な取り組み(人権)
- ・労働に関する考え方
- ・平均残業時間
- ・有給休暇、育児休暇
- ・代表的な取り組み(労働)

## ③環境

9P～11P

- ・環境理念
- ・環境方針
- ・環境マネジメントシステム
- ・ISO14001 運用管理体制
- ・長期環境目標と実績
- ・開発に関する取り組み
- ・製造に関する取り組み
- ・調達に関する取り組み
- ・全般に関する取り組み

## ⑤社会貢献

16P～17P

- ・基本的な考え方
- ・代表的な取り組み

## ⑦品質

19P

- ・品質方針
- ・品質マネジメントシステム
- ・IATF16949 運用管理体制
- ・代表的な取り組み

## ②コンプライアンス

8P

- ・コンプライアンスの目的
- ・社内体制
- ・代表的な取り組み

## ④リスクマネジメント

12P～15P

- ・事業継続計画の基本理念
- ・企業リスクに対する危機管理の基本方針
- ・対策本部組織図
- ・代表的な取り組み
- ・セキュリティ基本方針
- ・情報セキュリティ管理体制図
- ・代表的な取り組み

## ⑥情報開示

18P

- ・基本的な考え方
- ・情報開示
- ・情報開示の範囲
- ・対話の機会の充実

## ⑧調達

20P

- ・基本的な考え方
- ・サプライヤー CSR ガイドライン
- ・代表的な取り組み

■労働安全衛生方針

### 労働安全衛生方針

**基本方針**

1. ウチヤマグループは、安全衛生への取組みを経営の最重要課題のひとつとして位置づけ、働く人一人ひとりが「安全と健康は経営の基礎である」という認識のもと、全員参加の安全衛生活動を積極的に推進する。さらに、事業活動のあらゆる面で、安全で快適な作業環境の維持・改善に努め、真のゼロ災害職場を確立する。

2. 自らの健康は自らが守り、活気に満ちた明るい職場環境を確立する。

内山工業株式会社 取締役社長 内山 兼三

**UMC**

■安全宣言

**安全宣言**

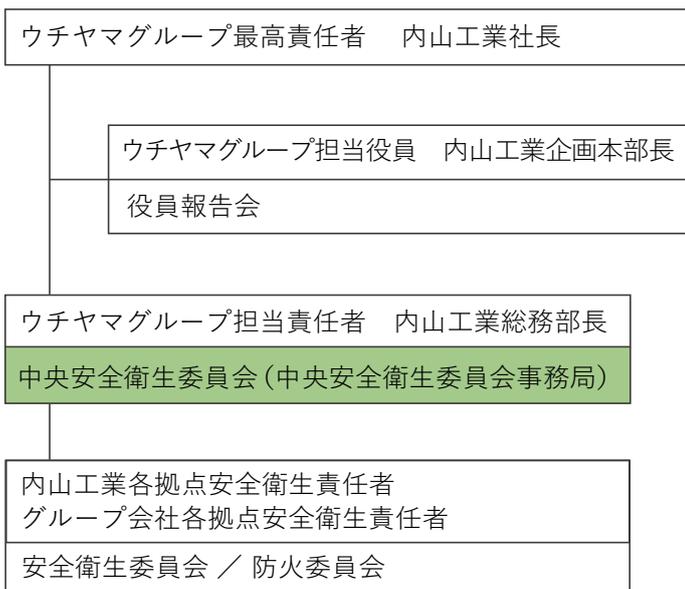
言葉で伝える相互注意 態度で示す安全行動

■労働安全衛生マネジメントシステム

労働安全衛生マネジメントシステム「OSHMS」に基づいた継続的な安全衛生管理、労働災害の防止、労働者の健康増進、快適な職場環境作りなどに取り組み、安全衛生文化の醸成に力を入れています。

■安全衛生管理体制

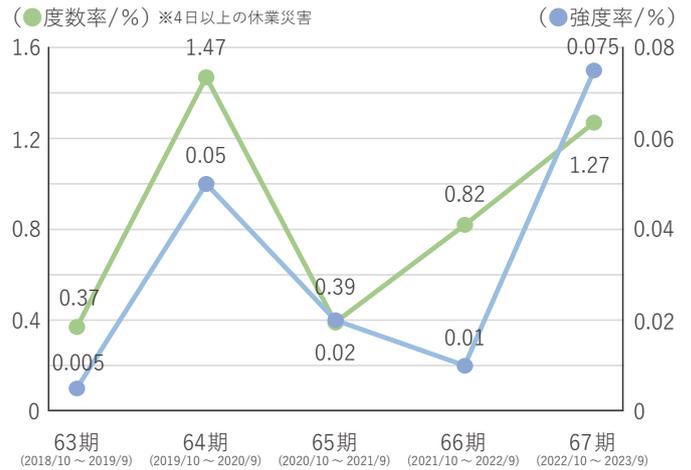
社長を最高責任者とする安全衛生管理体制を組織しています。活動内容は中央安全衛生委員会を経て決定し、各拠点に展開することで、グループ全体で高水準の安全衛生管理レベルを保てるよう、活動を行っています。



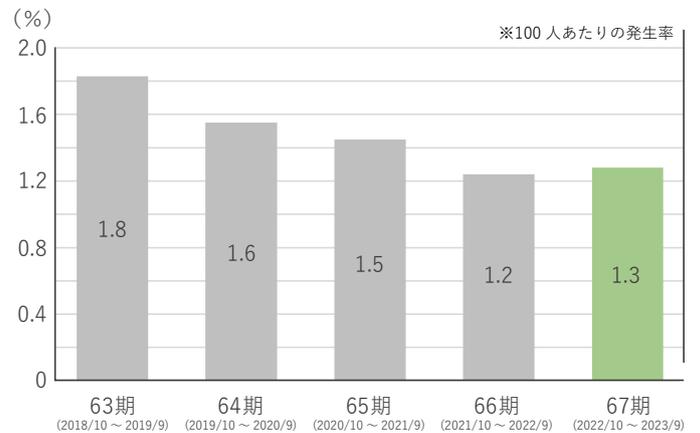
■労働災害、通勤途上事故

労働災害及び通勤途上事故は、発生した災害に対して原因究明、対策立案、社内への横展開まで迅速に行っています。各職場においては、定期的なヒヤリハット報告、KYT(危険予知訓練)の実践等により、災害の未然防止に努めています。

＜労働災害の度数率、強度率の推移＞



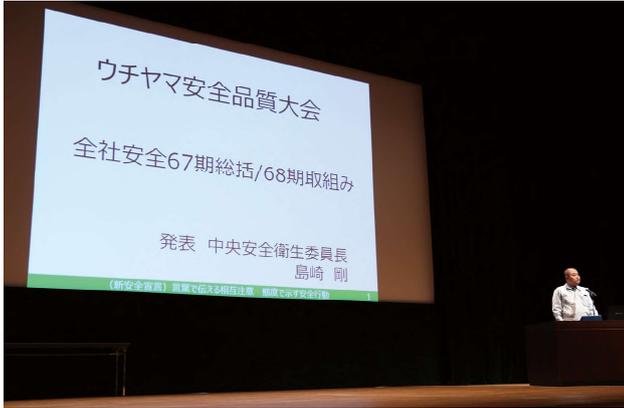
＜通勤途上事故発生率の推移＞



■代表的な取り組み

＜安全・品質大会＞

ウチヤマグループ各拠点ごとの安全衛生活動や品質改善活動の成果を発表、表彰する、安全・品質大会を年に1回開催しています。優秀な活動内容をグループ全体で共有し表彰することで、従業員のモチベーションアップ、意識向上を促進しています。



2023年度安全・品質大会の様子

＜各種安全衛生教育・研修＞

従業員の安全意識の向上と知識の習得のため、雇入れ時や職長向けなど、階層に合わせた安全衛生教育を実施しています。その他、自社にて作製した装置を使った危険体感研修なども行っています。



安全衛生教育の様子

＜岡山県危険物安全協会会長賞を受賞＞

内山工業邑久工場では、2023年5月に開催された岡山県危険物安全大会にて、危険物の取り扱いが優良な事業所だと認められ、「岡山県危険物安全協会会長賞」を受賞しました。



＜ストレスチェック＞

従業員の心の健康レベルを引き上げることで、組織の活性化、生産性の向上に繋げるため、ストレスチェックを実施しています。事業所内のみでなく、外部機関（産業医等）によるケアを効果的に推進し、メンタル不調者の早期発見及び支援を促しています。

＜健康増進の取り組み＞

【就業時間内禁煙】

2023年より、就業時間内の完全禁煙を実施しています。従業員の健康維持に繋がるだけでなく、受動喫煙の防止や職場環境の改善も兼ねて取り組んでいます。(下写真左)

【企業対戦型ウォーキングラリーへの参加】

歩数を他企業と競うウォーキングラリーイベントに参加しています。車通勤を徒歩通勤に切り替えたり、意識的に歩く習慣を取り入れるなど、多くの従業員が楽しみながら活動に参加しています。2023年度は、約500団体の参加がある中、6位にランクインしました。(下写真右)



就業時間内禁煙ポスター



ウォーキングラリー表彰状

＜健康経営優良法人認定＞

内山工業の健康への取り組みが認められ、経済産業省と日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」に3年連続で認定されました。この制度は、地域の健康課題に即した取り組みや、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。



## ■人権に関する考え方

### <差別の禁止>

当社は、雇用や処遇にあたっては、各人の仕事内容や業績に従って公平に評価します。性別、人種、国籍、宗教、思想、身体上のハンディ、その他個人的な特性(LGBTQ等)に基づいた差別は、いかなる場合であってもこれを行いません。はっきり差別と言えない場合でも不快感を与える言動は差し控えます。また、外国籍社員(外国人技能実習生等)の受け入れに伴う各種規制・ルールを遵守します。

### <ハラスメントの禁止>

パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント(マタハラ)等の各種ハラスメントは、相手に不快な思いを与え、また職場環境に悪影響を及ぼすためこれを許しません。

### <プライバシーの保護>

当社が保有する、役員・社員の個人情報は、これを厳正に管理し、本来の目的以外の使用は行いません。また、裁判所の命令等の正当な理由がない限り、本人の承諾なくこれを外部に開示することはありません。

### <結社の自由および団体交渉>

当社は、事業を行う国・地域の法令に従って、労働組合と社員代表を形成するすべての社員の基本的な権利を認めます。

## ■外国人従業員の採用

内山工業の国内拠点において、積極的な外国人従業員の採用を行っています。グローバル化を進めるうえで海外取引先との円滑なコミュニケーションを図り、技術職の研修を行うなど、外国人従業員の人材育成にも力を入れています。

国	人数
ベトナム	10名
中国	5名
セルビア	2名
フィリピン	1名
ブラジル	1名
ポルトガル	1名
韓国	1名
合計	21名

## ■障がい者の雇用環境

障がいのある方が働きやすく、個人の能力に応じた配置、業務に就けるよう快適な職場環境作りに取り組んでいます。障がい者雇用促進法にて定められた雇用率を遵守します。



バリアフリートイレの設置

障がい者雇用促進法による法定雇用率(2023年)	2.3%
当社の障がい者雇用率(2023年9月時点)	2.5%

## ■女性の活躍

社内での女性の活躍を促進させるため、従業員の教育、育成に力を入れています。

【女性従業員*に占める役職者の割合】	
2020年9月	29%
2023年9月	35%

※総合職、エリア限定職が対象

## ■代表的な取り組み

### ——<ハラスメントに関する研修・啓発啓蒙活動>——

従業員のハラスメントに関する意識、知識の向上のためハラスメント研修、アンコンシャスバイアス研修など各種教育を実施しています。また社内掲示板(WEB含む)にポスターを掲示することで、従業員の啓発啓蒙活動を行っています。



ハラスメント注意喚起ポスター

■労働に関する考え方

<強制労働・人身売買の禁止>

事業を行う国・地域の法令に従い、従業員を合法的に雇用します。全ての労働は自発的なものとし、従業員が自由に離職できることを保証します。雇用の条件として、パスポートや公的な身分証明書、労働許可証の引渡しを要求しません。

<児童労働の禁止>

雇用時に就労可能年齢に達していることを確認すること等により、全ての業務で児童労働をさせません。また、18才未満の若年者を、健全な発達を損なうような危険有害業務に従事させません。就労可能年齢は、15才または事業を行う国・地域の法令による就労最低年齢または義務教育終了年齢のいずれか最高のものとなります。但し、職業訓練や見習いについては法令が認める範囲に限り就労を可能とします。

<労働時間の管理>

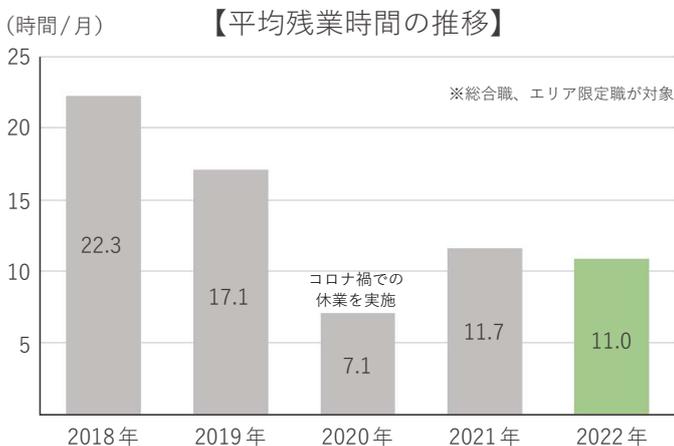
従業員の労働時間（超過勤務時間を含む）は、事業を行う国・地域の法令が定める限度を超えないようにします。法令が定める休日や年次有給休暇の権利を与えます。

<適切な賃金>

事業を行う国・地域の最低賃金、超過勤務、賃金控除、出来高賃金、その他給付等に関する法令を遵守し、従業員に給与を支払います。

■平均残業時間

従業員が健康で豊かに働けるよう、労働時間の短縮に取り組んでいます。従業員の残業時間を管理し、問題がある部署や個人の働き方改善を行ったり、計画的なノー残業デーを設けるなど、働き続けられる職場環境を整えています。

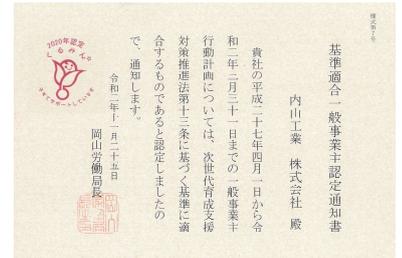


■有給休暇・育児休暇

従業員一人ひとりに合う働き方を支援するため、積極的な有給休暇、育児休暇の取得を働きかけています。半日の有給休暇取得ができるように社内規定を整えたり、男性の育児休暇の取得率向上のため、従業員への呼びかけを行っています。

有給休暇取得率 (2022年4月～2023年3月)	73%
育児休暇取得率 (2022年10月～2023年9月)	女性：100% 男性：25%

内山工業の育児支援の取り組みが認められ、岡山労働局より「くるみん」(右図)の認定を受けています。



■代表的な取り組み

<専門技能習得制度>

業務において必要となる各種知識「安全」「原価」「品質・環境」「生産・改善」「保全」を、段階的に理解度を確認しながら身に付けられる学習制度を取り入れています。

専門技能習得制度 教育科目と内容	
安全	事業を遂行するうえで大前提となる、「職場の安全確保」について法的な要請なども含めて幅広く学びます。
原価	企業活動で利益をあげ、永続していくために必要となる、「原価」を中心とした収益の仕組みについて学びます。
品質・環境	お客様要求を満たすだけの高い品質の確保、環境規制等への対応をしていくための知識を学びます。
生産・改善	お客様の注文から、期限を順守した納入まで、生産を管理する各種手法、改善活動などを学びます。
保全	生産工場の設備オペレーターに求められる知識と、設備の保全管理に関する事項を学びます。

<社員食堂>

福利厚生の充実、健康促進のため2023年より研究所に社員食堂を新設しました。健康に配慮したメニューや日替わりのメニュー、軽食の売店やコーヒーマシンも備えています。約80席の広々とした空間で、地上6階からの自然豊かな景観を眺めながら、気分転換もできます。



内山工業赤坂研究所の社員食堂

### <社員寮の提供>

従業員の希望に応じて、独身向け社員寮「南山寮」の貸し出しを行っています。従業員が働きやすい環境を整えるだけでなく、豊かな生活を送れるよう、サポート体制も強化しています。



南山寮

### <レクリエーション>

ウチヤマグループ大運動会は、毎回約 1,000 名が参加する一大イベントです。この他にも社員旅行やゴルフコンペなど、従業員が楽しんで参加できるレクリエーションを行っています。



ウチヤマグループ大運動会の様子

### <クラブ活動>

社員同士の交流や健康維持、趣味の充実などを目的に、多数のクラブ活動を行っています。カート、アスリート、茶道、釣り、天文など、クラブ活動を通して部門をまたいだコミュニケーションに繋がっています。



ウチヤマレーシングカートクラブ



アスリート同好会



## ■ウチヤマグループ環境理念

ウチヤマグループは、環境保全のために全社一丸となり、美しい自然と調和できるものづくりを目指して、その向上と改善に努めます。

## ■ウチヤマグループ環境方針

ウチヤマグループは、お客様に満足していただける製品とサービスを提供し、企業活動が及ぼす環境への負荷を低減させるべく、以下の項目について推進していきます。

- 1) 限りある天然資源の有効利用に努め省エネルギー活動の推進、廃棄物の3R (Reduce, Reuse, Recycle) 活動、製品に含有する環境負荷物質の調査及び低減に取り組み、継続的に環境負荷を低減し環境汚染予防活動を推進します。
- 2) 関連する環境の法律規制及びお客様や近隣地域との取決め事項を遵守します。
- 3) 定期的な内部監査及び環境マネジメントシステムのレビューにより、継続的な改善を図ります。
- 4) この環境方針を環境マネジメントマニュアルに記載してウチヤマグループの全員に周知徹底し、環境に関する意識の向上に努めます。

## ■環境マネジメントシステム (ISO14001)

企業活動による環境への負荷を最小限に押さえるため、環境マネジメントシステム「ISO14001」の要求事項に適合するマニュアルを策定しています。これを実施し継続的に改善することで、高いレベルでの環境への配慮、及び企業活動を維持する仕組みとしています。

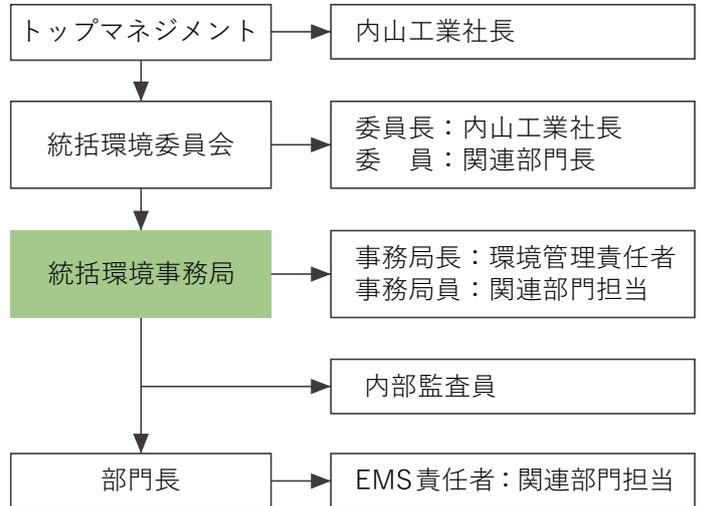


### ISO14001 取得拠点

- <内山工業>
  - ・赤坂工場
  - ・邑久工場
  - ・御津工場
  - ・岡山第一工場
  - ・茅ヶ崎工場
  - ・ロジティクスセンター
  - ・赤坂研究所
- <国内グループ>
  - ・エヌイーシール吉備高原工場
  - ・エヌイーシール久米南工場
  - ・エヌイーシール美原工場
  - ・ユーサン精密第一工場
  - ・ユーサン精密第二工場
  - ・ユーサンガスケット
  - ・東洋コルク広島工場
  - ・東洋コルク九州工場
- <海外グループ>
  - ・ウチヤマアメリカ製造
  - ・ウチヤマポルトガル
  - ・ウチヤマベトナム
  - ・廣州内山工業有限公司

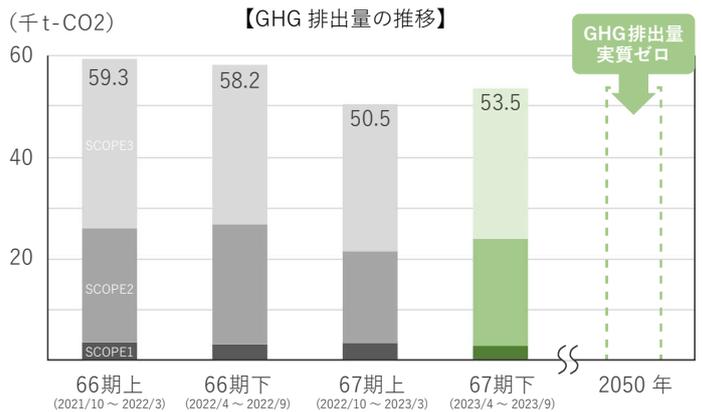
## ■ISO14001 運用管理体制

社長を最高責任者とする ISO14001 運用管理体制を組織しています。CO2 排出量削減など、持続可能な社会の実現に向けた活動が活発になり、ますます高くなる企業への要求に答えるため、組織一丸となり取り組みを進めています。



## ■長期環境目標と実績

ウチヤマグループは、66期 (2021/10 ~ 2022/9) を基準年とし、毎年3%のGHG (温室効果ガス) 排出量を削減することで、2050年の排出量実質ゼロを目標としています。SCOPE1から3まで、事業活動に伴う全プロセスにおいてGHG排出量の削減を実施していきます。



GHGの生産金額当たりの排出量 (t-CO2/百万円)			
年度	目標値	実績	削減率 (66期比)
66期 (2021/10 ~ 2022/9)	—	2.50	—
67期 (2022/10 ~ 2023/9)	2.43	2.11	15%

■開発に関する取り組み

＜バイオマス素材の開発＞

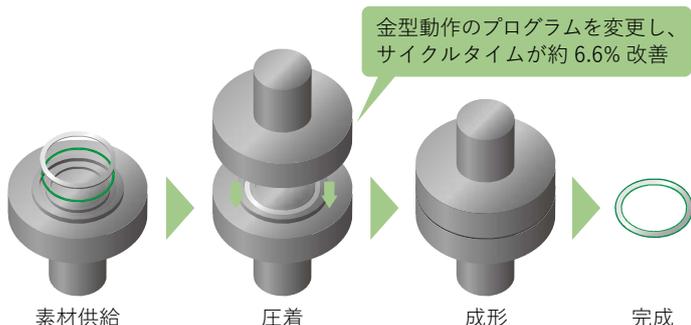
環境に対するリスクを軽減し、持続可能な社会を目指すため、材料開発部門ではバイオマス由来の原料を使用した環境対応型素材の開発に取り組んでいます。人の命を預かる自動車製品に採用される素材なので、環境にやさしいだけでなく、厳しい評価基準をクリアできる、高い品質の素材開発を進めています。

■製造に関する取り組み

＜生産性の向上＞

ムダなく、効率的に生産活動をするために、生産性の向上を常に意識した活動に取り組んでいます。生産ラインにおいては、サイクルタイムを短縮するためにプログラムを変更するなど、生産性の向上を日々追求しています。

【シール製品のサイクルタイム短縮の一例】



＜不良率、材料ロスの削減＞

不良率、材料ロスの削減のため、各生産現場では日々様々な改善活動を行っており、活動内容は定期的に改善報告会にて共有します。他拠点からの意見やアイデアを相互交換することでスキルを高め、全拠点での不良率、材料ロスの削減に役立っています。



改善報告会の様子

■調達に関する取り組み

＜バイオマス素材の調達＞

環境対応型の製品開発を行うため、バイオマス素材の調達を推進しています。廃タイヤを原料に作られた充填剤（写真左上）や植物由来の原料で作られたポリマー（写真右下）等を調達し、製品開発に活用しています。



廃タイヤが原料の充填剤



植物由来の原料のポリマー

＜コルクの調達＞

内山工業ではコルク栓やコルクフロアなど、コルクを原料とした製品を製造しています。コルクは約9年サイクルで再生するコルク樹の樹皮から採取され、樹皮の再生の間に大量のCO2を吸収する環境維持に適した素材です。コルクを調達し、製品にすることで間接的に環境に貢献しています。



コルク素材

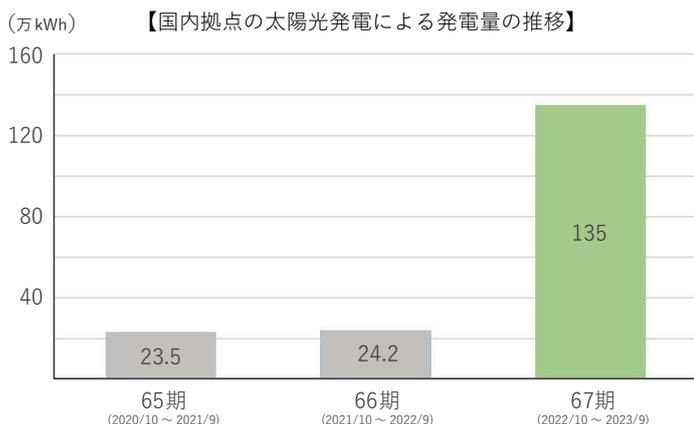
■全般に関する取り組み

＜再生可能エネルギーの導入＞

研究所や工場の屋上に太陽光発電装置を設置し、事業活動に必要な消費電力の一部をまかなっています。グループ全体で再生可能エネルギーの導入促進を進めています。



研究所の太陽光発電装置



＜エネルギーロスの低減活動＞

各工場ではエネルギーロスを低減するため、コンプレッサーから送られるエア漏れの低減活動に取り組んでいます。聴覚チェックのみでなく、エア漏れの発生箇所をセンサーで検出する設備を導入し、効率的な活動を行っています。



エア漏れ箇所検出の様子

＜産業廃棄物の削減＞

限りある資源の有効活用を図り、3R (Reduce, Reuse, Recycle) を推進し、循環型社会の構築に努めています。生産の過程で発生するゴムの廃材を原料とした商品を開発したり、金属部品はリサイクル資源として買い取っていただき、再資源化を進めるなど、環境負荷を抑える取り組みを進めています。



ゴムの廃材を利用した環境対応型舗装材

＜排水処理＞

各工場には排水処理設備を設け、各自治体または法律で決められた基準値を満たしたものを排出しています。処理後の排水は水質が安定しているので、設備内でコイを飼育している工場もあります。



排水処理設備

## ■事業継続計画 (BCP) の基本理念

ウチヤマグループはあらゆる潜在リスクに対応するための事業継続計画 (BCP) 及び危機管理として、平時から以下の基本理念を掲げて備えをし、危機が現実のものとなった場合にその対応に当たる。

- ①人命最優先。人命 (社員とその家族、来訪者) を守る
- ②企業の社会的責任を果たす
  - A: 企業資産 (工場建物、機械、設備、原材料、製品、半製品など) の保全
  - B: 業務の早期復旧と継続、正常化
- ③企業の社会的信用の確保
  - A: お客様、取引先関係各社等に悪影響を及ぼさない
  - B: 地域経済の早期安定化に貢献する
  - C: 各種対応について常に人道面での配慮を優先させる

## ■企業リスクに対する危機管理の基本方針

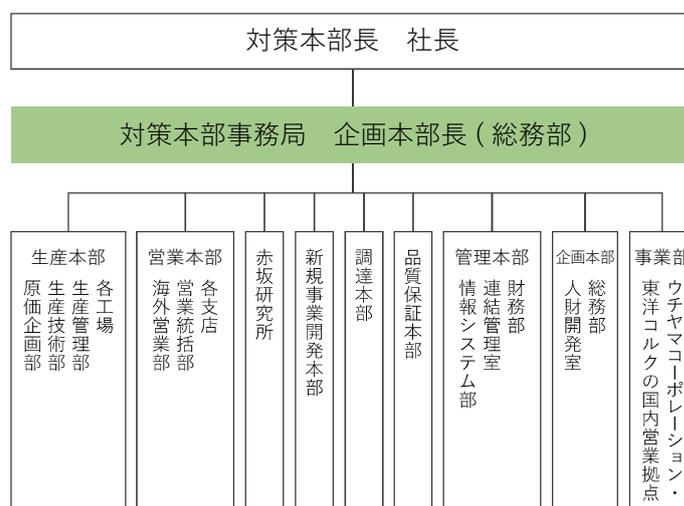
ウチヤマグループを取り巻くリスクの顕在化は、ウチヤマグループの業務及び地域社会において影響を及ぼす可能性があり、これに対する施策を経営の重要課題として位置付けし取り組む。ウチヤマグループのグローバル展開の進展により、海外拠点勤務者や海外出張者が日本国外でリスクにさらされる事を十分認識する必要がある。

以下を基本方針として掲げる。

- ・事実 (情報) を正確に掴んだ上で、経営トップ (社長) が陣頭指揮をとり、部門長が率先して日頃の準備と発生時の対応に当たる
- ・事業活動に支障となる悪影響に対して、被害を極小化する
- ・対策の継続的な改善を図る
- ・対策に必要な資源を経営が準備する
- ・地域社会に対して企業としての責務を果たす
- ・緊急時に実施した人道的対応は、ウチヤマグループの一時的な不利益を引き起こしてもこれに対して責任を追及しない

## ■対策本部組織図

社長を対策本部長とした対策本部を組織し、緊急時の対応にあたります。対策本部長の補佐を行う組織を、対策本部事務局とし、緊急時の対応や各拠点のBCPの策定やリカバリープランの作成等、事前の計画策定を推進します。



## ■代表的な取り組み

### ＜BCP危機管理マニュアルの配布＞

事務局にて策定した BCP 危機管理マニュアルを、役員・部門長に配布し、あらゆる潜在リスクが発生した場合を想定して、日頃からの対策、発生を想定した訓練及び緊急時対策に活用しています。

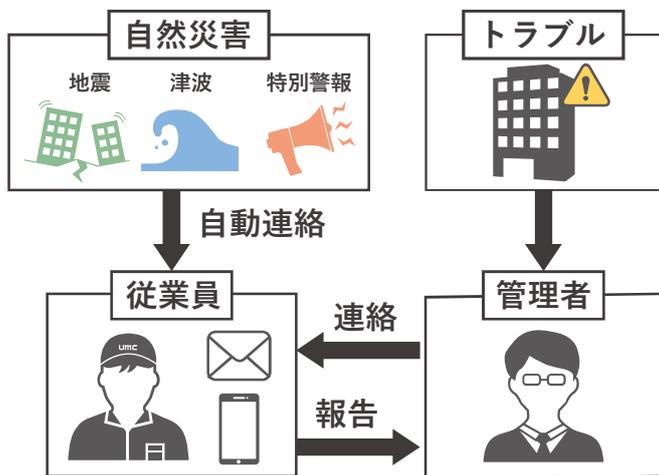


BCP 危機管理マニュアル

## リスクマネジメント

### ＜安否確認システムの導入＞

予期しない自然災害（地震、津波、特別警報等）の際、登録した従業員の個人メールアドレスやスマートフォン専用アプリを通し、迅速に安否確認を行うことができるシステムを導入しています。自然災害に限らず、社内外のトラブル時にも利用することができ、従業員の安全確保に努めています。



### ＜衛星電話の導入＞

2018年の西日本豪雨では基地局の水没、電源喪失等の影響により、携帯電話が使えない地域があったことから、固定電話、携帯電話の次の連絡手段となる衛星電話を導入しました。高い確率で発生するとされる南海トラフ地震にも対応できるよう、設備を整えています。



衛星電話使用の様子

### ＜電気自動車の貸し出し＞

社用車として電気自動車を利用しており、緊急事態の際は、非常用電源として貸し出しができるようにしています。屋外でもいつでも電気を使えるように、給電コネクタも備えています。



電気自動車給電の様子

### ＜衛生用品の生産・販売＞

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、内山工業ではマスクなどの衛生用品を製造し、販売を行っています。コロナ禍では販売店からマスクが品薄状態となったため、従業員、取引先、地域の皆様に安心して生活していただけるよう不織布マスク生産用の設備を導入しました。



内山工業が製造する不織布マスク「Uchiya マスク」

### ＜地区住民との意見交換会＞

内山工業邑久工場では、万が一の自然災害に備え工場が所在する岡山県瀬戸内市邑久町豆田地区の住民と、定期的な意見交換会を実施しています。自然災害、中でも洪水と地震への対策を重視する地区住民と共通の認識に基づき、地区と企業が共に助け合えるよう協定を結び、工場を避難場所として活用するのみでなく、意見交換や防災訓練で関係を密にしています。



意見交換会の様子

### ＜災害協定の締結＞

内山工業赤坂工場は、2023年5月に岡山県赤磐市と山口区との間で、「災害における緊急一時避難所としての施設使用に関する協定」を締結しました。工場が所在する山口区に災害発生への恐れ、もしくは災害が発生したとき、工場が緊急一時避難所として避難者の受け入れが可能になりました。

同様に、ウチヤマグループの東洋コルク広島工場では、2018年10月に広島県竹原市との間で、「災害時における施設の提供協力に関する協定書」を締結し、地域住民の緊急時の安全・安心を確保しています。

### ＜簡易組み立てベッドの製造＞

ウチヤマグループの東洋コルクでは、自然災害等による避難所での利用を想定した、発泡ポリプロピレン製の簡易組立ベッド「床にポン」を製造しています。避難所での生活環境改善や身体への負担を軽減することができ、全国各所の自治体にて採用されています。



東洋コルクが製造する  
簡易組立ベッド「床にポン」

### ＜飲料水の提供＞

ウチヤマグループの東洋コルク広島工場では、広島県竹原市の良質な地下水を使った飲料水「東洋の神秘」を製造しています。2018年の西日本豪雨の際は、断水が続く被災地に飲料水として提供しました。またウチヤマグループの各拠点でも非常用の飲料水としてストックしています。



東洋コルクが製造する飲料水「東洋の神秘」

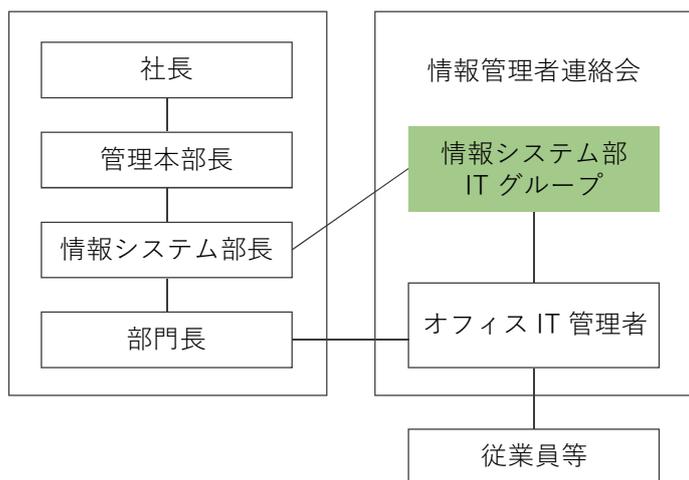
## ■セキュリティ基本方針

ウチヤマでは、様々な有形・無形の情報資産（紙文書・特許情報・コンピュータファイル・ノウハウ等）を会社の重要な資産の一つであると位置づけ、これらの情報資産を適切に活用・保護するために、以下の方針を定め、実施・推進します。

1. 法令遵守
  - ・ 法令・社会規範・社内規則の遵守を徹底し、違法行為・規則違反には厳然たる態度で臨みます。
  - ・ 第三者の資産・知的財産の不正使用や機密情報の不正入手はしません。
2. 資産保全
  - ・ 情報資産の紛失・盗難・不正使用等が無いよう、また、効率的に活用できるよう、組織的、技術的に適切な対策を講じます。
  - ・ 全ての従業員において企業機密、知的財産・個人情報等の重要性を認識し、保護するよう努めます。
3. 継続性
  - ・ 永続的に運用するため、この基本方針は定期的に見直します。

## ■情報セキュリティ管理体制図

情報セキュリティ管理体制を組織し、情報システム部ITグループが基本方針に沿って、必要なセキュリティ対策の実施及び維持を行っています。



## ■代表的な取り組み

### ——— <情報セキュリティハンドブックの配布> ———

情報活用に潜むリスクを明確化し、リスクが問題に発展しないための対処方法をまとめた、情報セキュリティポリシーを、ハンドブックとして従業員に配布しています。



情報セキュリティハンドブック

### ——— <情報セキュリティの認知活動> ———

情報は様々な形態で存在し、取り扱いを誤ると情報漏洩などの問題に発展します。益々重要となる情報セキュリティに対し、従業員一人一人が理解を深めるため、説明会やEラーニングを通して認知力向上に努めています。



情報セキュリティのeラーニング講座

## 社会貢献

### ■基本的な考え方

私たちは、地域社会に支えられ事業活動を継続することができています。子育て応援や学生への奨学金支援、その他様々な事業活動及び社会貢献活動を通じて、地域との繋がりを大切にします。自らが社会の一員であることを認識し、ともに発展していくよう努めます。

### ■代表的な取り組み

#### ＜企業内保育園＞

多くの従業員が勤務する岡山県赤磐市では、企業内保育園「のびのびぞうさん保育園」を構えています。従業員のお子様はもちろん、地域住民のお子様も入園することができ、地域の子育て応援を行っています。



のびのびぞうさん保育園の様子

#### ＜大学生への奨学金支援＞

内山工業の将来を担う学生を支援するため、大学生向けの奨学金支援を実施しています。内山工業へ入社することで、条件に応じて貸与額の返済義務免除、毎月の返済額の半額を完済まで給与支給するなど、多数のプランで学生を応援しています。



奨学金支援制度のポスター

#### ＜学生フォーミュラへの協賛＞

全日本学生フォーミュラ大会※に参加する、岡山大学チームのメインスポンサーとして、活動資金援助、パーツ作製、定期活動レポートへのコメントを行っています。また、研究所の駐車場にテストコースを敷設し、休日には車両走行データの取得のために貸出をしています。

※全日本学生フォーミュラ大会とは、「ものづくりによる実践的な学生教育プログラム」として、学生がレーシングカーの企画、設計、製作、競技を行い、走行性能だけでなく販売コンセプトや収益性など、ものづくりの総合力を競う大会です。



岡山大学チーム 2023 年度のマシン



研究所の駐車場兼テストコース

#### ＜仕事体験の実施＞

大学生を対象にした、1Day 仕事体験及び長期インターシップの受け入れを実施しています。1Day 仕事体験は、学生の興味のある分野を選択して、交流・業務体験を行うことができる実体験型のプログラムです。長期インターシップは、2～3か月間学生に就業していただき、スキルの習得や企業を深く知っていただく場としています。



1Day 仕事体験の様子

## 社会貢献

### <地産地消への取り組み>

ウチヤマグループの kibi foods では、岡山県吉備中央町の豊かな自然を活かし、ワイン、お米、ブルーベリー、里芋など様々な農作物を提供しています。ぶどうの栽培から醸造まで一貫して行う kibi VALLEY が 2020 年に完成し、醸造した「kibi ワイン」は、吉備中央町の道の駅、ふるさと納税の返礼品として、また岡山県内のスーパーやデパートで販売するなど、地産地消の取り組みを行っています。



ワイン醸造所の kibi VALLEY



kibi ワイン

### <イベントの企画>

コルク素材を使ったイベントやワークショップを企画しています。コルクは環境に負荷をかけないサステイナブルな素材です。イベントやワークショップを通じてコルクの魅力を伝え、身近に感じてもらう取り組みを行っています。



コルク素材を使ったワークショップの様子

### <地域の清掃活動>

地域貢献として、社員寮のある地域及び内山工業本部周辺、所属団体の活動に応じた清掃活動を定期的に行っています。ゴミのないきれいな街づくりを応援するだけでなく、地域の方との良好な関係を築くことも大切にしています。



清掃活動の様子

## ■基本的な考え方

ウチヤマグループが持続的に発展していくためには、お客様、取引先、地域社会、従業員との信頼関係が不可欠であると考えています。企業活動についてステークホルダーの皆様へ正しく理解していただくために、適切な情報を開示するように努め、皆様から信頼される企業を目指します。

## ■情報開示

2024年からCSR活動等に関して、皆様に詳しくお伝えするため「サステナビリティレポート」を開示しました。「行動計画」「女性の活躍に関する情報公表」と共に、ホームページにて開示します。

## ■情報開示の範囲

<報告対象期間>

67期（2022年10月～2023年9月）の活動を中心に、それ以前からの取り組みや直近の内容を含んでいます。

<報告対象範囲>

内山工業の活動を中心に、ウチヤマグループ全体、もしくはグループ会社単体の取り組みを含んでいます。

## ■対話の機会の充実

ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを円滑にするため、対話の機会の充実を図っています。

ステークホルダー	主な対話の機会
お客様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社案内、各種パンフレット</li> <li>・ホームページ</li> <li>・サステナビリティレポート</li> <li>・商談、監査時等による意見交換</li> <li>・展示会、イベント</li> <li>・お客様アンケート</li> </ul>
取引先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社案内、各種パンフレット</li> <li>・ホームページ</li> <li>・サステナビリティレポート</li> <li>・商談、監査時等による意見交換</li> <li>・展示会、イベント</li> <li>・サプライヤー CSR ガイドライン</li> </ul>
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学との産学連携、協賛</li> <li>・各地域のイベント参加</li> <li>・地域貢献活動</li> <li>・ホームページ</li> <li>・サステナビリティレポート</li> </ul>
従業員・OB等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、イントラネット</li> <li>・サステナビリティレポート</li> <li>・社内報</li> <li>・持ち株会</li> <li>・研修、セミナー</li> <li>・各種相談室</li> <li>・社員面接</li> <li>・社内掲示</li> <li>・レクリエーション</li> </ul>

ウチヤマグループの関係者とのコミュニケーションツールとして、社内報を年3回発行し、従業員、OBに配布しています。企業の思いや普段知ることのない自部門以外の取り組みを共有し、グループ全体の結束力を高めています。



2023年春の社内報

■ウチヤマグループ品質方針

品質方針

人材の質、仕事の質、製品の質  
この質の向上を絶えず意識し  
地球上のすべてのお客様に喜んでいただき  
満足していただける製品とサービスを  
提供いたします

■品質マネジメントシステム (IATF16949)

「IATF16949」は、品質マネジメントシステム ISO9001 をベースに自動車業界の規格を統合した、包括的な品質マネジメントシステムです。活動による不具合予防、並びにサプライチェーンにおける継続的改善を実施するため、IATF16949 の要求事項に適合するマニュアルを策定しています。

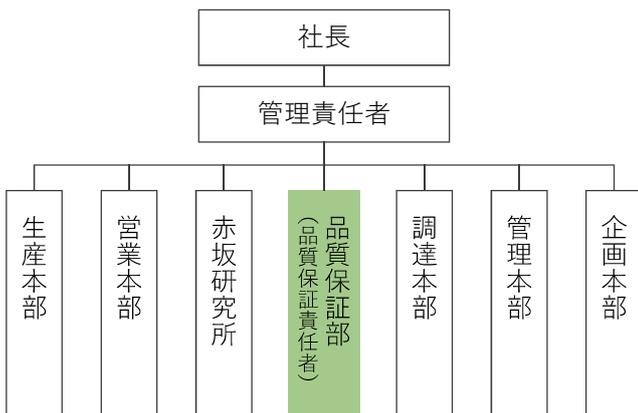


IATF16949 取得拠点

- <内山工業>
  - ・赤坂工場
  - ・邑久工場
  - ・御津工場
  - ・ロジティクスセンター
- <国内グループ>
  - ・エヌイーシール吉備高原工場
  - ・エヌイーシール久米南工場
  - ・エヌイーシール美原工場
  - ・ユーサン精密第一工場
  - ・ユーサン精密第二工場
  - ・ユーサンガスケツ
- <海外グループ>
  - ・ウチヤマアメリカ製造
  - ・ウチヤマポルトガル
  - ・ウチヤマベトナム
  - ・廣州内山工業有限公司

■IATF16949 運用管理体制

社長を最高責任者とする IATF16949 運用管理体制を組織しています。品質保証部が品質保証責任者となり、継続的改善を実施することで、世界品質を維持できる組織作りを行っています。



■代表的な取り組み

<QCサークル活動>

ウチヤマグループでは品質の向上のため、QCサークル活動に力を入れています。チームで課題を見つけ議論し、その改善策の実行から効果測定まで行っています。積極的なQCサークル活動により、自ら考え、学び、行動する能力を向上させ、活力ある職場作りを目指しています。



QCサークル活動表彰式の様子

<社内表彰制度>

品質保証活動の取り組みにより、1年を通してクレームが0件だった拠点に対し、社内表彰を行っています。従業員のモチベーションを向上させ、さらなる品質向上に繋がる制度を導入しています。



<品質に関する表彰例>

内山工業は日産自動車(株)様より、2021年度のSSC (Supplier Score Card) トップランクとして優良品質感謝状をいただきました。市場品質、納入品質、不具合対策等の目標を達成し、本評価をいただきました。



## ■基本的な考え方

ウチヤマグループの事業活動は、多くのサプライヤーに支えられて成り立っています。サプライヤーの皆様と持続可能な取り組みを行うため、基本的な方針を「サプライヤー CSR ガイドライン」にまとめ、共有しています。その中で、「安全・品質・コンプライアンス」を優先課題と位置づけ、経営を支える基盤を強固にしながら、社会の期待に積極的に応えていくことを目指して取り組みを進めています。遵守すべき事項を「コンプライアンスマニュアル」「BCP 危機管理マニュアル」等に定めるとともに、教育や啓発などの研修活動を通じて、役員や従業員に周知・徹底し意識向上を図っています。その上で安全な製品の提供、環境問題への対応、人権・労働問題への配慮など、社会からの期待にしっかりと応えていけるように取り組んでいます。

## ■サプライヤー CSR ガイドライン

サプライヤーの皆様と共に持続可能な取り組みを行うため、2020年に「サプライヤー CSR ガイドライン」を策定しました。サプライヤーの皆様にご遵守していただきたい内容を明記し、共有することで、適切な取引を維持しコミュニケーションの向上にも繋がっています。

分野	項目
コンプライアンス	法令や企業倫理を遵守するための仕組みづくり 競争法の遵守 腐敗防止 反社会的勢力との関係遮断 輸出入関連法規の遵守 知的財産の保護 機密情報・個人情報の保護 安全で高品質な製品・サービスの提供
人権・労働	差別の撤廃 人権の尊重 児童労働の禁止 強制労働・人身取引の禁止 労働時間の管理 適切な賃金 結社の自由・団体交渉 安全・健康な職場づくり
環境	環境マネジメントシステムの構築と運用 環境関連の法令遵守と行政手続きの実行 環境汚染防止 地球温暖化対策の推進 省資源対策の推進 生物多様性の保全
地域社会	地域への貢献 責任ある資源・原材料の調達
リスク	リスクの低減 事業継続計画（BCP）の策定と改善
情報開示	
皆様のサプライヤーへの展開	

## ■代表的な取り組み

### ＜グローバル調達の推進＞

ウチヤマグループでは、世界各国のサプライヤーと連携し、調達活動を行っています。グローバルのお客様に良い製品を提供するために現地調達化を強化し、高品質な製品を適切な価格で、安定して提供ができるものづくりを推進しています。

### ＜サプライヤーのリスク管理＞

外部機関を利用したリスク評価のみでなく、一定のサプライヤーには定期的に監査に訪問し、直接評価を行っています。また新しく取引を始めるサプライヤーには、評価表等を用いて、経営・財務状況、CSR 遵守等、多方面からの評価を行うことで、リスク管理を行っています。

### ＜紛争鉱物への対応＞

ウチヤマグループは、紛争の資金源を遮断することで人道危機を抑制するため、紛争地域及び高リスク地域原産の鉱物に関し、紛争と無縁の鉱物の調達を目指します。また、責任あるサプライチェーンを管理するため、紛争鉱物のデューディリジェンスプログラムを導入し、合理的な管理を行えるよう、サプライヤーと協議します。

### ＜パートナーシップ構築宣言＞

内山工業は、内閣府、経産省等をメンバーとする「パートナーシップ構築宣言」に賛同しました。本宣言は、サプライチェーンの取引先や事業者の皆様との連携を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、発注者側の立場から宣言するものです。

